

夢を追う卒業生 その21 平成30年11月22日

ダンスにかける大学ライフ

◇今回は、平田絢女さん（金沢大学人間社会学域経済学類）のレポートです！



私は現在、金沢大学人間社会学域経済学類で学んでいます。勉強に関しては、申し訳ないほどにお伝えできるものがなく、ほかの先輩方のレポートを参考にさせていただきたいです(笑)。

そんな私が、大学生活の100%をかけているようなものは、ダンスです。もともと、関にいたころから習ってはいたのですが、大学に入って、なおさら力が入りました。大学に入ってから、新しいジャンルにも挑戦し、今では、「自分のやりたかったものはこれだ！」と自信をもって言えます。

1年生のころから外部のレッスン、イベント等に多数参加しています。コミュニティが、東京などのほかの地域とは違い、狭い分、北陸三県や新潟などの遠方のダンサー、普段では関わることもできないような大先輩ともたくさんお話しする機会をいただいています。また、去年は、福井にいる同い年のダンサーとチームを組み、毎週往復4時間の移動をしながら練習していました。私のダンス生活を簡単にまとめるとこんな感じです。

授業がない時は、ダンスかバイトでほとんどどうまります。

私が踊っているジャンルは、waack(ワック)というものです石川県内の waack を踊っている大学生には一緒にバトルに参加するような人はなかなかいません。そのため、1年生のころから先輩にいろんなところへ連れて行ってもらい、様々な場を経験してきました。去年1年間はユニットにも参加し、いろんなイベントでショーをしました。そうして先輩との交流が増えていく、ありがたい環境が周りになりました。

そんなダンスまみれの生活の基本にあるのが、

- ・バトル
- ・ショーケース
- ・レッスン



の三本柱です。バトルとは、その場で流れる曲は事前に知らせられることもなく、即興で曲に合わせて踊り、どちらがその曲にのれていたかを審査員が勝敗を決まる試合のようなものです。

バトルでは、個人戦のソロバトル、チーム戦のクルーバトルがあります。

今年でいうと、DANCE ALIVE HERO'S という決勝戦が東京の国技館で行われる日本最大級のダンスイベントの北陸予選に参加しています。このイベントの中に RIZE という部門があり、大学生 5 人チームに限定されたバトルです。このバトルに必要なものが“ルーティーン”というもので、自由に踊る中に、複数人で事前にとっておいた振りや構成をバトル中に組み込まなければいけません。3 回の予選の合計ポイント数で、上位 2 チームが決勝に進めます。私たちのチームは、1 回目の予選では準優勝することができ、今後もこのまま順調に勝ち進められれば「国技館も夢じゃない」というところにいます。

このチームのメンバーは、全員同級生で、1 年生から切磋琢磨してきました。とてつもない個性のかたまりで、自分には持っていないものを持っている子がいたり、ルーティーンを作るうえでも、まったく想像ができなかった方向に進んでいって、案外いいものができたりなど、とにかく刺激をもらいっぱなしの状況です。なによりも楽しすぎます。ほんとうに最高のメンバーで、このチームで良かったと本気で思っています。



ショーケースでは、金大ストリートダンスサークル 8-street のイベント出演はもちろん、お盆にある石川県大学ダンス連盟(通称 UP)の公演にも出演しています。そのほかにも、オファーをいただいたり、自分からナンバーに参加したりするなど、様々な場で踊らせていただいています。また、最近では、1 年生のころからずっと一緒に挑戦している私の一番の相方と二人で、ショーケースイベントも開きました。



特に思い出が強いものは、UP の夏の公演です。テストが終わった次の日から毎日、朝から晩まで練習まみれ、睡眠すらまともに取れない極限状態の日々が約 1 週間続きます。この公演の出演者は、OB・OG さんを含めると 200 人強にもなります。その中で今年の公演では、公演の一番最初を飾る opening、私がずっと練習してきている waack の 2 つのショーの振付師をさせていただきました。2 つとも系統も違えば、踊る人も違うし、教え方にも工夫が必要

で、最初は本当に苦戦しましたが、いいショーが作れたとおもいます。まだ満足はしていないので、「来

年リベンジしたいな」と考えてはいますが(笑)。

もう一つはレッスンです。これまで小学生からダンスを習ってきてずっと教わる立場だったのですが、今年の10月から毎週レッスンを持たせていただき教えることになりました。

大学生にサークルなどで教えるのとはまた一味違い、教えることの難しさ、楽しさを実感できています。また、はじめてわずかですが、お金をいただいて教える責任感、75分生徒を飽きさせないレッスンを組み立てなければならない緊張感など、ひしひしと感じています。生徒の中には習い事すら初めてという小学生もいます。しかし、毎週みるたびに成長がすさまじく、感動もするし、楽しそうにレッスンを受けてくれているので私も楽しいです。私自身、これまでもダンスが楽しかったのですが、今はより楽しく思っています。

そんな順調に見えた私のダンス生活ですが、過去一番の挫折を今現在味わっています。それは、半月板損傷による怪我の手術です。それも、中2のころから何度も経験しているものの、治療に向き合わず、逃げてばかりの代償なのか、なかなか損傷が激しかったようです。

バトルは、RIZEでメンバー変更をして、チームとしては継続、挑戦を続けています。ショーは、大学祭直前になってしまったため、振付師としてだけの参加でした。レッスンも開始3週目から代講レッスンにかわりました。

単刀直入に言うと、悔しさと、申し訳なさでいっぱいです。ですが、ここで手術を受けなかったら今以上に将来に響いてくるのも事実です。手術を受けることに対しても、自分で考えていたら絶対にしなかった判断だし、そこですすめてくれた友達、尊敬してやまない大好きな先生に、本当に感謝しかありません。

今このレポートを書いているのも、病室のベッドの上です。6日前に手術を受け、2週間の足の固定、リハビリの真っ最中です。痛みで夜中に起きるし、移動は松葉杖だし、自由に踊れない、歩けないことに対するもやもやは隠せませんが、半年後には歩いて、徐々に踊れるように前を向いて進むしかありません。

挫折して苦勞した分、生活にも生きるし、ダンスにもつながると信じてポジティブに生きていきます。来年、絶対国技館に行くし、ショーにも出まくりです。レッスンも再開して、いろんな角度、視点からダンスを見て考え、より充実した人生になるよう、この踊れない期間も何かに活用できるよう、時間を無駄にせず生活していきます!!!